



組合員活動のコーナー

2014.3.1 ピキニデー

60年を迎える今年も静岡県・焼津にて「核兵器のない世界」を願い、2014年ピキニデー集会在開催されました。パルコプからは前日に開催された日本生協連主催のキックオフ集会などに8人が参加しました。また第五福竜丸で被ばくし亡くなった、無線長だった久保山愛吉さんのお墓がある弘徳院までの墓参り進にも参加しました。

組合員活動は「食」「平和」「環境」「くらし」の4つの柱にそって各地域で多彩なとりくみが行われています。

参加者の感想

2日目のピキニデー集会では、第五福竜丸の元乗組員の方から貴重な体験談を聞かせてもらいました。被ばくから60年、生存されている方も高齢になられています。ピキニ事件に関する元乗組員の方が執筆された書籍などで、より詳しく学習することも大切だと感じました。

そんななか、生協ひろしまの活動事例報告の中で、ヒロシマを継承するため「子どもによる子どものための碑めぐり」のガイドを養成(小4~中学生の子どものみ)がありました。広島を歴史を学び、被爆体験を聴き、同世代の子どもたちに伝えるというもので、分かりやすく、すこく好評というものでした。被爆者の平均年齢が78歳と高齢化している、語り継げる人材の育成が必要とされている中、すばらしいとりくみだと思いました。

(参加者の福島区・谷口悦子さん)

3.1ピキニデーとは
1954年3月1日、アメリカがマーシャル諸島内・ピキニ環礁(環状の珊瑚礁群)で水爆実験を行いました。日本のマグロ漁船「第五福竜丸」を含む数百隻とマーシャル諸島の約2万人が被ばくし、以降「原水爆禁止」を求める声は、全国的な運動に発展。毎年3月1日には、第五福竜丸の母港がある焼津市で、犠牲者の追悼と核兵器廃絶の願いを新たにする集会などが行なわれています。

今年のピースリレー(平和を願って御堂筋を歩きます。どなたでも参加できます)は7月4日(金)です。詳しくは今後のぱるタイムなどでお知らせ。また、8月の「ヒロシマ・ナガサキをめぐるピースツアー」の募集は、ぱるタイム100号(5月26日から配布)でお知らせ予定。

*ピースリレーや地域の平和のとりくみで使う「平和の募金」を注文書の募金欄で受付けています。ご協力をお願いします。



愛吉さんが好きだったバラを献花



墓参り進

2014年度

たべる*たいせつキッズクラブメンバー募集!

主催:子育てサポートステーション

毎日のくらしの中で「食べる」ことをたいせつにしよう!この「たべる、たいせつ」という思いを子どもたちに伝えることを目的とした、5歳以上の子どもさんを対象のおうちでできる食育サポートプログラムです。

募集 サポーターになりませんか! (ボランティア)
「おたよりカード」に返事を書いたり、食育体験を企画します
＜サポーターさんへの説明会＞
5月13日(火)10:00~12:00 パルコプ本部(京橋)

「キッズクラブ」と「サポーター」の申し込み・問い合わせ先
5ページ下の組合員活動サポートセンターへお電話ください。
(キッズクラブの締め切り) 4月25日(金)

*途中退会の返金はありません。
*お預かりした個人情報は「たべる*たいせつキッズクラブ」の運営や関連企画などの案内にのみ使用します。

2冊セットのテキストブックを春夏秋冬の年4回お届けします。



おたよりカードを送ってね。お返事が届きます。

*教材写真はイメージ

参加対象 おおむね5歳から小学生のお子さん

年会費 2,000円 *兄弟姉妹で申し込み場合は、2人目から1500円

「パル・よど・ならボランティア参加者のつどい」の講演から



岩手県釜石市鵜住居地区の釜石の奇跡と「悲劇」を聞いたことがあるでしょうか。津波の被害が歴史的に繰り返されてきた岩手県沿岸部、中学生が小学生の手を引いて遠くの高台へと約600名の生徒全員が無事に避難することができました。長年の避難訓練の成果です。一方、「鵜住居地区防災センター」では2階天井まで浸水し、集落から一時避難していた200名以上の住民が亡くなりました。

避難場所ではない建物に、予算上、防災センターの名前をつけて避難訓練時に使用されていた誤解から多

く、住民が避難していません。正しい訓練がされていれば悲劇は防げたでしょうね。また、人とお金が少ない地方では、多くの制約の中で自治がなされていることが遠因の一つであることが否めません。エネルギーや農産・畜産品などの多くが地方で作られ大都市で消費されており、地方が無ければ大都市は無いというのが現実です。よど、では、地方において人が介在する生業を作りだす効果的な支援があるべきで、そうして街が生き活性化して持続可能な地域社会ができます。日本では自然災害が避けられませんが、このときこそ国の一番の責任として生命を守ることがあり、結果責任と未来責任もあります。私たちも、日本の人口減・高齢化の少し先の姿とも言える被災地の復興の課題に注目し、一人ひとりが次代の社会を選択する未来責任があることを認識していきたいものです。



齋藤 徳美さん
(岩手大学名誉教授)

仕事を興し 安全を守る街作り

津波災害の実態と復興の課題

今年も被災地へ
 よどがわ生協・ならコプ合同企画
 お1人でもご家族でも
 参加者募集

2014年度 第3回「岩手ボランティアバス」

【日程】6月25日(水)~6月28日(土) *曜日は、金~月ではありません。

【申込締切】5月16日(金)

【募集定員】10名(3生協で30名)

今回は生協さんのふれあいサロンにご一緒します。今までに参加された方も、申し込みを受付けています。定員を超えた場合は抽選となります(初めての方が優先です)。

【参加費】お1人12,700円(ボランティア保険含む)

【行程】3泊4日(車中2泊)・大型観光バスで行きます

1日目 パルコプ本部(京橋)集合(18時) <車中泊>
2日目 岩手10時頃着、ボランティア活動、被災地視察 <宿舎泊>
3日目 ボランティア活動 <車中泊>
4日目 パルコプ本部前到着(9時頃予定)

【参加条件】組合員さん、及びその家族で安全上、中学生以上の方。

*2014年度より諸経費の費用増加にともない参加費を変更させていただきます。
*ボランティアの内容と場所は、現地での要請に基づきます。
*持ち物などの詳細は別途、参加者にご案内。
*宿舎は男女別・相部屋。
*天候不順などにより中止になる場合があります。

【申し込み・問い合わせ】パルコプ組織部
☎06-6242-0904 (月~金 9時~18時)

ご協力ありがとうございます

東北支援募金の状況(2013年3月21日~2014年1月20日)
10,231,029円 (この金額には注文書の募金・店舗などに設置の募金箱・ずっとボラの会での物販などを含みます)

ずっとボラの会(ボランティアバス参加者の有志の会)よりお知らせ

ずっとボラの会ではパルコプの店舗で「東北復興応援グッズ販売」をしています。ぜひ、お立ち寄りください。いずれも時間は10時~15時。

日程	会場
4月5日(土)	ながお店
4月19日(土)	東中浜店
5月3日(土)	西くずは店
5月17日(土)	つるみ店

阿倍野地域活動委員会が子ども企画で参加される、地域のまつりにも出店します。

名称「西六まつり横丁」 日時 4月20日(日) 11時~14時
場所 阪南コミュニティー広場(阿倍野組合会館の南側)



3月8日の様子

パルコプの店舗一覧はコチラ。
<http://www.palcoop.or.jp/shopping/shop/index.html>
阿倍野組合会館の地図はコチラ。
http://www.palcoop.or.jp/au_ji/map/k_abeno.html

*ボランティア活動報告はホームページにも掲載しています。
<http://www.yodogawa.coop/info/info/shinsai>